

各 位

2024 年 12 月 12 日
株式会社 G S I クレオス
経営企画部 企画広報課

アストラサナ・ジャパンとの資本業務提携による CBD（カンナビジオール）市場への新規参入について

株式会社 G S I クレオス（東京都港区／代表取締役 社長執行役員 吉永直明／以下、当社）は、このたび、スイスに本社を置く CBD（カンナビジオール）のリーディングカンパニー・アストラサナ社（AstraSana Holding AG）の日本法人であるアストラサナ・ジャパン株式会社（東京都渋谷区／代表取締役 吉田智賀子／以下、アストラサナ・ジャパン）に出資し、同社との強力なパートナーシップのもと、日本国内での CBD 原料の卸販売を開始いたします。

CBD（カンナビジオール）は大麻草に含まれる成分の一種ですが、日本でも法律で使用が認められている安全な成分で、大麻取締法にて規制される THC（テトラヒドロカンナビノール）とは異なります。生活を豊かにするという「QOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上」の一助として、2013 年頃から欧米を中心に急速に認知が広まり、CBD を配合した製品が続々と登場しました。近年ではサプリメントや飲料、スキンケア製品など幅広い分野で利用が拡大しており、世界的に注目されています。調査会社によると、世界の CBD 市場規模は 2020 年に 27 億 7,080 万米ドルで、2021 年から 2028 年の間に年平均成長率 47.49% で成長し、2028 年には 557 億 9,130 万米ドルに達すると予測されています。

一方、CBD は合法でありながらも、大麻由来成分であることや規制の基準が不明瞭であったことから、これまで日本国内においては取り扱いの難しさがありました。しかし、本日 12 月 12 日に施行された改正法により CBD 製品に許容される残留 THC の閾値が明確に定められたことで、国内流通における CBD 製品の一層の安全性と信頼性が確保されることとなりました。日本は CBD を食品原料および食品群として認める数少ない国であり、今回の法改正を機に、国内の CBD 市場の活性化が期待されています。

アストラサナ・グループは、スイスの本社をベースに、専門的知識と高度なスキルを用いて CBD 事業における栽培・抽出・製造・輸出までを一貫して手掛けるグローバル企業です。アストラサナ・ジャパンは、“信頼と安全”をモットーにスイス原産のプレミアム CBD 原料を日本国内で供給し、人々の QOL の向上を目指しています。それは「次代の生活品質を高める」ために生活・健康分野に注力する当社グループの方針に合致していることに加え、国内 CBD マーケットは今後の急成長が期待できることから、この度同社とパートナーシップを締結し、CBD 販売事業に新規参入することといたしました。

今後は両社の強みを活かして、日本の新たな法規制に準じた安全で高品質な CBD 原料を国内で安定的に供給し、国内 CBD 市場の発展と人びとの生活品質の向上に貢献してまいります。また、日本市場の潜在ニーズを掘り起こし、CBD 原料の新たな可能性を模索するとともに、原料販売にとどまらず、現在アストラサナ・グループが取り組むヒト向け・ペット向けサプリメント分野においても、当社グループのリソースを活用した OEM 生産や最終製品の販売など、新たなビジネスモデルの構築を目指してまいります。

【アストラサナ・ジャパン社の概要】

- (1) 名称 : アストラサナ・ジャパン株式会社
- (2) 所在地 : 東京都渋谷区富ヶ谷 1-14-14 スタンフォードアネックスビル 3 階
- (3) 代表者 : 吉田 智賀子
- (4) 設立 : 2023 年 3 月 3 日
- (5) 資本金 : 29,000 千円

以上

参考文献：[カンナビジオール市場規模、シェア | CBD 産業の成長、2028 年](#)

【G S I クレオスとは】

G S I クレオスは、国内に 9、海外に 24 の事業拠点をもち、“繊維”と“工業製品”の両事業をグローバルに展開する事業創造型商社です。繊維原料から、生地、アパレル製品、化学品、ホビー商材、機械、半導体部材、ナノテクノロジーまで、国内外のネットワークを駆使しながら幅広く事業を展開しています。「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」というパーパス（存在意義）のもと、ESG 経営を推進し、社会課題の解決と人びとの幸せの実現を目指しています。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社 G S I クレオス 経営企画部 企画広報課 Tel : 03-5418-2122